

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		老人クラブ活動援助				所管	健康部		
							健康課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]					[事業開始] 昭和 3 5 年度		
		[小 柱]					[終了予定] - 年度		
		[施 策]							
	根拠法令等	要綱		〔法令等名〕	老人クラブ助成金交付要綱、老人クラブ健康づくり事業補助金交付要綱、老人クラブ運営要綱、台東区老人クラブ功績者感謝状贈呈要綱				
	事業対象	台東区内の老人クラブ							
	事業目的	社会奉仕活動、友愛活動、生きがいを高める活動、健康を進める活動などを行う地域で自主的に組織された老人クラブに対し、運営費の助成や情報提供をするなどその活動を支援する。							
	事業内容	(1) 老人クラブ助成(単位クラブ 会員数により3段階 月額17,000円、19,000円、21,000円) (2) 老人クラブ園芸教室開催 春・秋 31クラブ分 (3) 輪投げ大会開催 年1回 (4) 老人クラブ広報紙「朗友」の発行 年2回 (5) 老人クラブ功労者感謝状贈呈 年30人程度 (6) 健康教室事業助成 300,000円							
委託の有無	なし		委託内容						
補助金の有無	都								
事務事業の実績	種 別	指標の名称 (単位)			目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度	
	活動指標	補助対象クラブ (クラブ)			120	122	120	120	
		活動に有効な情報提供機会 (回)			13	13	13	13	
	成果指標	社会奉仕活動(1クラブ年間平均) (回)			140	158	158	140	
		健康づくり活動回数(1クラブ年間平均) (回)			205	208	223	207	
	決算額 (単位：千円)					28,873	28,350	28,235	
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト (人件費など)				11,701	10,156	11,930	
		物にかかるコスト (物件費・維持補修費)				1,070	931	1,031	
		その他のコスト (扶助費・補助費など)				27,804	27,420	27,204	
		総経費				40,575	38,507	40,165	
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額 (使用料・手数料・負担金など)							
		その他特定財源 (国や都の支出金・財産収入など)				3,713	3,656	3,656	
一般財源 (区負担額)				36,862	34,851	36,509			
前年度から改善した事項		老人クラブの新規入会者を増やすため、老人クラブ連合会とタイアップして会員増強運動を開始した。具体的には、入会の案内リーフレットを自主制作し、町会と連携を図って入会を呼びかけていくというもの。2～3年かけて運動を進めていく。							
評価の視点		評価	評価の理由						
	必要性	3	老人クラブ数はやや減少傾向にあるものの、区内の高齢者人口は増加しており、地域の高齢者と区とのつながりを確保するためにも、当事業は必要である。						
	効率性	3	老人クラブ助成は各クラブの会員数に応じた助成額となっているため、会員数の減少によりコストが下がる仕組みとなっている。会員数・老人クラブ数の減少によりコストも下がっている。						
	手段の適切性	4	老人クラブの活動は自主活動であるため、活動費の助成という手段は適切である。また、広報紙の編集や輪投げ大会の運営、園芸花壇の管理は老人クラブ会員により行われており、他の手段を検討する余地はない。						
	目的達成度	3	目的はおおむね達成できたが、会員の高齢化による活動回数の減少により目標値を達成できなかったものとする。						
[評価の理由] (区民生活への影響を十分考慮すること)					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
老人クラブは、地域で自主的に社会奉仕・健康を進める・生きがいを高める等の活動を行っている。高齢者が住み慣れた地域で生き生きと暮らし続けていくために、老人クラブの活動に対し継続的に支援を行う必要がある。						維持			